

# ユニオンファンド 月次レポート

第 114 号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2018年5月8日作成

## MONTHLY TOPIC

### 「株式投資」… あなたはどのタイプ？

「全く関心なし」という人たちを除きますと、まず目立つのが頻りに売買を繰り返すタイプです。いわば「株にはまった人たち」。その中には、短期間で大儲けしたという人が確かに一定数います。「こうして株でひと財産作った」といった成功体験を本に書いている人の多くはここに当てはまります。

その一方で、短期売買を繰り返して損がかさんだ結果、「二度と株なんかやるものか」という人も、損した体験を本に書くことはなくとも間違いなくかなりの数に上ります。こうした人たちの話をどこからか耳にして、株式投資を「危険、近寄るべからず」となんとなく感じている人が多いのではないのでしょうか。

#### 「株式市場、近寄るべからず」派

無関心層と株大好き派の間にも二つの派があります。ひとつは「株式投資はギャンブルであり、やるべきではない」という積極的否定派。もうひとつは「株式投資をしてみたいが難しそう」という、やや前向きながらも堅実あるいは慎重な人たちです。

前者つまり積極的否定派は、「そもそも額に汗して働くことが尊いおカネの稼ぎ方というものであり、おカネを転がして儲けようなどというのは人として間違っている」くらいに思っています。でも、本当にそうでしょうか。

世の中には、完全に正しいとも完全に間違っているとも決めがたい、グレーな事柄が多いものです。確かに株式会社の中には悪事を働くところもありますし、株式市場においてもズルや不祥事には事欠きません。しかし、素晴らしい製品やサービスを提供している会社が数多くあるのも事実です。そして、株式投資とはこうした企業の活動に資金面で間接的に参加することでもあるのです。市場を通じて投資する一般的なケースでは、私たちが株を買っても、そのおカネが直接企業に届くわけではありませんが、企業にとって株価が下支えされることのメリットは小さくありません。多数の投資家の参加によって公正に株価が形成されることは、事業を行うための資金を必要な時に調達する手段を企業が手にしている、ということなのです。

#### 「株式投資、やってみたいが難しい」派

最近増えているのは、低金利と将来への不安などから資産形成の必要性を強く感じている人たちです。ただ、株式や投資に縁がなかったために躊躇し、まだ先のことだと一日延ばしにしている人も多いようです。

やり方がわからないという方には、「株式投信」の「長期」「積立」を今後もお勧めしてまいります。積立投資では、とにかく早く始めて時間を味方につけることが大切です。まずは少額で始めてみませんか？

運用責任者 久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## UNION FUND REPORT

## ユニオンファンド運用状況

(2018年4月末現在)

## 基準価額

24,944 円

## 純資産総額

61 億 75 百万円

## 期間別騰落率(%)

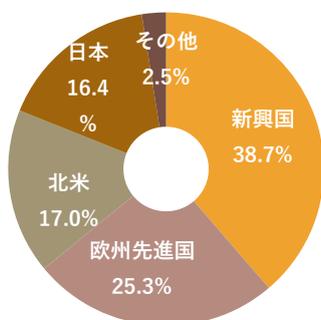
1 ヶ月	1.87%
6 ヶ月	-3.45%
1 年	8.19%
3 年	10.71%
5 年	48.95%
設定来	149.44%

## 複利年率(%)

10.06%

\*「複利年率」とは設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。「複利年率」は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

## 地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率  
(2018年3月末現在)

## 基準価額と純資産総額の推移



## 組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	7.2%	3.9%
スパークス F	日本	7.5%	3.6%
キャピタル F	欧米	13.9%	3.4%
ハリス F	欧米	21.7%	4.5%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	5.9%	2.0%
コムジェスト・エマージング F	新興国	35.8%	-0.5%
現金等	-	8.0%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

## ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## UNION FUND REPORT

## 2018年4月の市場動向と運用状況

## 投資環境と基準価額の推移

4月の株式市場は3ヵ月ぶりに上昇しました。3月には米中間の貿易摩擦が懸念要因に浮上しましたが、直接交渉を前に発言がトーンダウンし安心感が戻りました。また、為替市場でドルが反発したことも、特に日欧の株価には大きなプラス要因となり、欧州株は地域別に見ますと最も大きく上昇しました。

欧州市場の過去半年ほどを振り返りますと、昨年後半には、景気拡大ピッチが速まったことから金融緩和の終了が強く意識され、それによってユーロが大きく上昇しました。しかし、ユーロ高は結果的に欧州企業の輸出競争力を低下させ、今年に入り景気の減速感も強まってきました。輸入品物価も上がらず、物価上昇懸念も沈静化したことから、金融緩和が継続されるとの予想が市場で支配的となり、足元のユーロ反落につながりました。そして、このユーロ反落が欧州企業にとっての追い風になると考えられ、株価も反発したわけです。なお、日本株も似たような状況で、円安が株価を押し上げた面が強そうです。

一方、新興国の動きは日欧とは大きく異なりました。ドル反発の背景は、主として米国景気の堅調とそれによる金利上昇期待ですが、米国金利の上昇は新興国にとって重荷となりかねません。資金流出要因となるほか、米ドル建ての債務を抱える国や企業にとって返済負担の増加につながるからです。アルゼンチンは政策金利を急速に引き上げていますが、この結果、国内景気が悪化してインフレと景気後退の同時進行に落ち込むことが警戒されています。

米国金利の上昇は多くの新興国において注意事項ではありますが、それ以上にしばしば重要となるのは、高い経済成長率を維持できるかどうかです。この点もあわせて注視していくことが必要と考えています。

苦境にあるアルゼンチンの連想もあって新興国全般が株安・通貨安傾向にあるため、コムジスト EMF は組入ファンドの中で唯一値下がりしました。ユニオン F は同ファンドの組入比率を高位に維持しているため、基準価額の上昇率は小幅にとどまりました。

## 運用の状況

3月には値下がりを受けてやや多めの買い付けを行いました。4月は全般に回復傾向だったため、買い付けは見送りました。4月末時点の組入比率は全体で92.0%と、3月末より若干低下しています。

## 今後の見通しと運用方針

米中の主要関係閣僚による貿易交渉が行われましたが、大きな前進はありませんでした。この問題は今後もしばらくくすぶり続けそうです。同様に市場参加者が警戒しているのは米国の金融政策です。5月の利上げは予想どおり見送られましたが、6月の引き上げはほぼ確実と見られています。インフレ率が目標とされる2%にほぼ届いてきたことを背景に利上げ加速が警戒されており、株価にとって今後も重荷になりそうです。

債務の拡大は、新興国だけでなく先進国においても折に触れて不安視される可能性が大きいと思われるので、状況を引き続き注視していきます。大きな調整場面があれば、これまで同様に買い増しを行う考えです。

運用責任者 久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# さわかみファンド

基準価額の推移



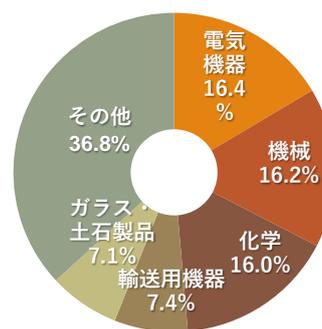
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 日本電産	5.4%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
2 プリチストン	4.2%	日本	ゴム製品	タイヤ世界首位
3 TOTO	3.8%	日本	ガラス・土石製品	衛生陶器首位
4 花王	3.7%	日本	化学	トイレットペーパー首位
5 ダイキン工業	3.4%	日本	機械	エアコン世界首位
6 国際石油開発帝石	3.0%	日本	鉱業	石油ガジャー
7 浜松ホトニクス	2.9%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
8 信越化学工業	2.9%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
9 テルモ	2.8%	日本	精密機器	医療機器 (カテーテル)
10 トヨタ自動車	2.6%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
<b>上位10銘柄</b>	<b>34.5%</b>		<b>現金等</b>	<b>9.9%</b>

業種別構成比



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2018年4月末現在>

# スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



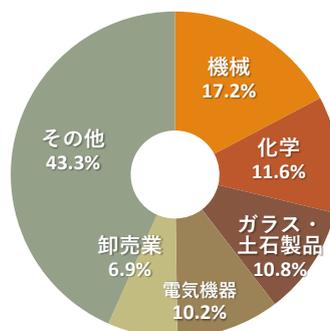
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
ビックカメラ	—	日本	小売業	大手家電量販店
MARUWA	—	日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
三浦工業	—	日本	機械	産業用小型ボイラー大手
日精エー・エス・ビー機械	—	日本	機械	プラスチック容器成形機・金型メーカー
オルガノ	—	日本	機械	水処理装置大手
山洋電気	—	日本	電気機器	冷却ファン・サーボモーター等
フェローテックホールディングス	—	日本	電気機器	半導体等の装置材料・部品メーカー
マニー	—	日本	精密機器	手術用縫合針、眼科・歯科治療機器
エフピコ	—	日本	化学	食品トレーなど容器の大手
トーセイ	—	日本	不動産業	不動産流動化・開発・賃貸等
<b>現金等</b>			<b>現金等</b>	<b>5.5%</b>

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2018年3月末現在>

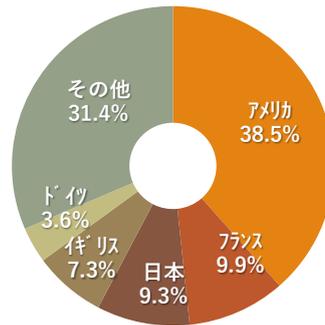
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 Airbus	1.9%	フランス	資本財・サービス	世界有数の航空機メーカー
2 Pernod Ricard	1.9%	フランス	生活必需品	アルコール飲料、食品
3 ASML	1.8%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
4 Enel	1.6%	イタリア	公益	国内最大の電力会社
5 Alphabet	1.6%	アメリカ	情報技術	グーグルの持ち株会社
6 Vale	1.6%	ブラジル	素材	鉄鉱石などの総合資源開発会社
7 AIA	1.4%	香港	金融	生保・金融サービス
8 Microsoft	1.3%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピュータ・ソフト
9 Deere	1.2%	アメリカ	資本財・サービス	大手農機・建機メーカー
10 GoDaddy	1.2%	アメリカ	情報技術	ドメイン登録、レンタルサーバ
上位10銘柄	15.5%	現金等	3.6%	

業種別構成比



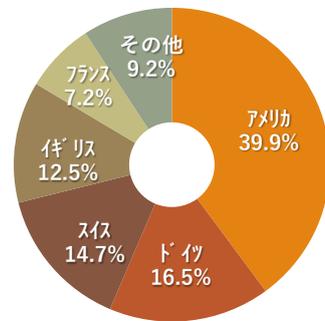
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2018年3月末現在>

# ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュース株ファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 DAIMLER	5.7%	ドイツ	自動車・自動車部品	世界自動車大手
2 BNP PARIBAS	5.1%	フランス	銀行	フランス大手銀行
3 ALLIANZ	5.0%	ドイツ	保険	総合保険大手
4 GLENCORE	4.0%	イギリス	素材	鉱山開発・商品取引
5 CNH INDUSTRIAL	3.9%	オランダ	資本財	農機・建機メーカー
6 CREDIT SUISSE	3.8%	スイス	各種金融	スイス大手銀行
7 HCA HEALTHCARE	3.6%	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	米最大の病院経営会社
8 WPP	3.3%	イギリス	メディア	大手広告代理店
9 GENERAL MOTORS	3.2%	アメリカ	自動車・自動車部品	米ビッグ3の一角
10 LAFARGEHOLCIM	3.2%	スイス	素材	セメント世界一
上位10銘柄	40.9%	現金等	4.6%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の24産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2018年3月末現在>

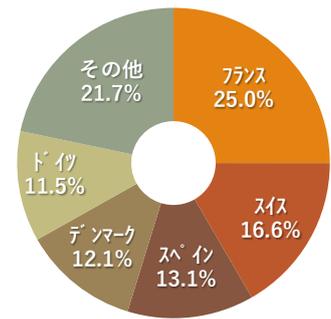
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# コムジェスト・ヨーロッパF (ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA)

基準価額の推移



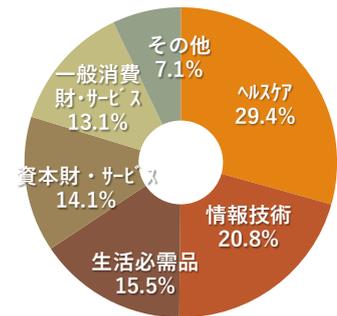
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 INDITEX	6.2%	スペイン	一般消費財・サービス	アパレルメーカー
2 AMADEUS	6.2%	スペイン	情報技術	旅行予約システム
3 ESSILOR	5.2%	フランス	ヘルスケア	光学製品
4 SARTORIUS STEDIM	4.6%	フランス	ヘルスケア	ウイルス除去フィルター
5 COLOPLAST-B	4.5%	デンマーク	ヘルスケア	人工肛門世界大手
6 ASSA ABLOY	3.7%	スウェーデン	資本財・サービス	鍵等のセキュリティシステム世界最大手
7 NOVO NORDISK	3.5%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
8 CHRISTIAN HANSEN	3.4%	デンマーク	素材	乳酸菌、酵素製剤
9 AB FOODS	3.4%	イギリス	生活必需品	食品製造・衣料小売
10 SAP	3.4%	ドイツ	情報技術	ビジネス向けソフトウェア大手
上位10銘柄	44.1%		現金等	5.3%

業種別構成比(マザーファンド)



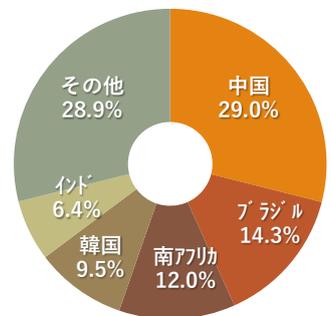
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2018年4月末現在>

# コムジェスト・エマージングF (ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA)

基準価額の推移



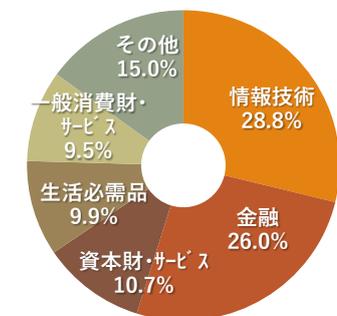
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 TSMC ADR	5.4%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2 COGNIZANT TECHNOLOGY	4.7%	アメリカ	情報技術	インドに受託拠点を置くIT会社
3 CHINA LIFE	4.4%	中国	金融	生保国内最大手
4 PING AN INSURANCE	4.2%	中国	金融	保険大手
5 MTN	4.0%	南アフリカ	電気通信サービス	携帯電話
6 BAIDU ADR	3.8%	中国	情報技術	検索エンジン世界2位
7 SAIC MOTOR	3.5%	中国	一般消費財・サービス	国内大手自動車メーカー
8 NETEASE ADR	3.4%	中国	情報技術	オンラインゲーム
9 SAMSUNG LIFE	3.4%	韓国	金融	生保
10 POWER GRID OF INDIA	3.1%	インド	公益事業	電力関連(送電網)
上位10銘柄	39.8%		現金等	4.7%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2018年4月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## NOTICE

## 業務管理部からのお知らせ

### ご住所の変更をされるお客様へ

弊社ではお客様のご登録情報に変更がある場合、各種変更届をご提出いただいております。

ご転居等で現在の登録住所を変更される方は、弊社業務管理部（TEL：0263-38-0725）へのお電話または弊社ホームページの「取引口座関連（各種変更手続き）」 > 「登録情報変更用紙請求」フォームで届出用紙をご請求ください。

お届出にあたっては、**新住所が証明できるご本人確認書類をあわせてご提出ください。**

※ ご住所変更の際、個人番号（マイナンバー）もご提示いただきます。

#### 【ご注意ください】

- ・ 新住所をお届けいただくまでの間、各種報告書等は旧住所への送付となります。
- ・ 法令の定めにより、新住所のお届け出がない場合、原則として、ファンドの解約代金等をお支払いすることができません。
- ・ 海外へ転勤・移住等される場合は、お客様によって手続方法が異なります。**必ず出国される前に弊社までお電話ください。**（出国後ではお手続きいただけないものもあります。）

### 残高情報、評価金額等のご確認について

お客様が保有されている「ユニオンファンド」の残高、評価金額等は、弊社業務管理部へのお電話でのお問い合わせ、またはお取引の都度お送りしております「取引報告書」にてご確認いただけます。

#### 【お電話でご確認いただく場合】

弊社業務管理部（TEL:0263-38-0725）までご連絡ください。（営業時間：平日 9：00～17：00）  
直近の保有残高口数、投資金額、取得単価、評価金額をご確認いただけます。

※ ご連絡の際に、お客様ご本人様であることの確認をさせていただきます。

#### 【「取引報告書」でご確認いただく場合】

報告書内の「取引後残高」項目をご確認ください。

“約定日現在”における保有残高口数、評価金額等が表示されています。

「取引後残高」・・・ユニオンファンドの保有残高口数（取引後）

「取得単価」・・・お客様の取得単価の平均値（取引前・取引後）

「投資元本」・・・お客様の損益のもととなる金額（投資されている元本金額／取引後）

「評価金額」・・・取引後残高の約定日現在の評価金額

（「評価金額」＝「取引後残高」×「約定日の基準価額※」÷10,000）

※「約定日の基準価額」は報告書内「取引明細」項目にあります「1万口当たりの単価」です。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## RISK AND FEE

## ユニオンファンドのリスク・手数料

### 『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

### 『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

**申 込 手 数 料** お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。  
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

**換 金 手 数 料** ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

**信 託 財 産 留 保 金** 信託財産留保金はありません。

**信 託 報 酬** 純資産総額に年 0.864%（税抜き 年 0.8%）の率を乗じて得た額です。  
毎日、当ファンドの信託財産より控除されます。  
[\*実質的な信託報酬：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（概算）]  
\* 『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券でかかる信託報酬を含めた率です。  
目安であり、組入状況により変動します。

**そ の 他 の 費 用** 上記のほか、次の手数料・費用等が当ファンドの信託財産より控除されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税等相当額の費用を含みます)
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用(監査費用)(消費税等相当額を含みます)

※ 監査費用は委託会社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。